

令和3(2021)年度入試について

公表日：2019年12月17日（2019年11月11日版から一部修正・追加）

1. 入試種別の名称について

現行		⇒	令和3(2021)年度入試	
入試方法	入試種別		入試方法	入試種別
アドミッション・オフィス (AO) 入試	アドミッション・オフィス (AO) 入試		総合型選抜	総合型選抜(自己推薦型) 総合型選抜(情報技術評価型)
推薦入試	公募推薦入試		学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募制)
	同窓生子女推薦入試			学校推薦型選抜 (同窓生子女推薦)
	指定校推薦入試			学校推薦型選抜(指定校制)
	特別推薦入試			学校推薦型選抜(特別推薦)
一般入試	一般入試 A 方式		一般選抜	一般選抜 (A 方式 個別学力試験)
	一般入試 B 方式 (大学入試センター試験利用)			一般選抜 (B 方式 大学入学共通テスト利用)

※その他の入試については、名称の変更はありません。

2. 各入試方法の実施内容について

(1) 総合型選抜

<自己推薦型（現行のアドミッション・オフィス (AO) 入試）>

従来通り、提出された書類に基づく詳細な審査および小論文試験や時間をかけた面接等により、志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を学力の3要素を踏まえて総合的に評価します。

<情報技術評価型> **New!**

多様な背景を持つ受験生を受け入れるため、社会情報学部情報デザイン専攻において令和3(2021)年度入試から下表の入試を実施します。

実施する学科	社会情報学部 社会情報学科 情報デザイン専攻
求める人物像	「情報技術」に関して卓越した能力を持つ者
出願要件	以下のいずれかの要件を満たしている女子 (1) 日本情報オリンピック (JOI) 予選の成績が B ランク以上の者 (2) 情報処理推進機構が実施する基本情報技術試験の合格者 (3) 他の資格試験又はコンテスト等の受賞により、上記(1)(2)と同等以上の情報技術を有するもの
選考方法	・ 出願書類（調査書、資格検定試験の証明書類等） ・ 面接（約 15 分間、個人面接）

※公表内容は予定であり変更する場合があります。

(2) 学校推薦型選抜（現行の推薦入試）

従来通り、出身高等学校長の推薦に基づき、調査書等提出書類および各学科・専攻等のアドミッション・ポリシーに準拠した選抜方法により、高等学校等での学習成績、基礎的・基本的な知識、思考力、コミュニケーション能力、学習意欲等を総合して評価します。

(3) 一般選抜

①一般選抜 (A方式 個別学力試験)

- ・2月と3月に、複数回実施する予定です。
- ・それぞれの試験日において、下表にて指定する科目をいくつか組み合わせて合格判定に用います(国文科、英文科以外)。
- ・各教科・科目の試験を通して、大学の専門課程で学ぶために必要な基礎学力として高等学校卒業相当の知識を有しているか、その理解度と思考力、判断力等を見ます。
- ・小論文や面接を課す学科・専攻では、大学の専門課程で学ぶために必要な知識の理解度と思考力、判断力、表現力や意欲等を見ます。

●試験科目

学部・学科・専攻		試験科目									
		国語	英語	化学	生物	日本史B	世界史B	数学	小論文	面接	
家政学部	被服学科		○	○	○	○					
	食物学科	食物学専攻	○	○	○	○					
		管理栄養士専攻									
	児童学科	児童学専攻	○	○							○
		児童教育専攻	○	○	○	○				○	
ライフデザイン学科		○	○		○	○	○				
文学部	日本文学科		○	○							
	英語英文学科		○	○							
	コミュニケーション文化学科		○	○						○	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	○	○			○	○			
		環境情報学専攻	○	○	○	○	○	○	○		○
		情報デザイン専攻	○	○	○	○	○	○	○		○
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	○	○							
		社会・臨床心理学専攻	○	○							
	人間福祉学科		○	○			○	○			○
比較文化学部	比較文化学科		○	○			○	○			
短期大学部	家政科	家政専攻	○	○							
		生活総合ビジネス専攻	○	○							
		食物栄養専攻	○	○	○	○					○
	国文科		○								
	英文科			○							

●各科目の出題範囲および出題分野

国語	日本文学科は現代文・古文・漢文、比較文化学科は現代文・古文、その他の学科・専攻は現代文のみを出題分野とする	
英語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰを出題範囲とする	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」を出題範囲とする	
化学	被服学科、食物学科、環境情報学専攻、情報デザイン専攻	「化学基礎」「化学（「無機物質の性質と利用」「有機化合物の性質と利用）」を出題範囲とする
	児童学科児童教育専攻、家政科食物栄養専攻	「化学基礎」を出題範囲とする
生物	被服学科、食物学科、ライフデザイン学科、環境情報学専攻、情報デザイン専攻	「生物基礎」「生物（「生物の進化と系統」を除く）」を出題範囲とする
	児童学科児童教育専攻、家政科食物栄養専攻	「生物基礎」を出題範囲とする

②一般選抜(B方式 大学入学共通テスト利用)

- ・大学入学共通テストの成績を利用する入試方式で、2月と3月に合格判定を実施する予定です。
- ・それぞれの試験日において、下表にて指定する科目をいくつか組み合わせて合格判定に用います。
- ・各科目の試験を通して、大学の専門課程で学ぶために必要な基礎学力として高等学校卒業相当の知識を有しているか、その理解度と思考力・判断力等を見ます。

●試験科目

学部・学科・専攻		大学入学共通テストにおいて利用する科目
家政学部	被服学科	「国語」「英語」から1科目
		「世界史B」「日本史B」「地理B」【理科※1】から1科目
	食物学科 (食物学専攻・管理栄養士専攻)	「国語」
		「英語」
		【理科※1】
	児童学科 児童学専攻	「国語」
		「英語」
児童学科 児童教育専攻	「国語」	
	「英語」【理科※2】から1科目	
ライフデザイン学科	「国語」「英語」から1科目	
	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」【理科※1】「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「情報関係基礎」から1科目	
文学部	日本文学科	「国語」
		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」「英語」から1科目
	英語英文学科	「英語」
		「国語」「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目
		「英語」
コミュニケーション文化学科	「英語」	
	「国語」「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	

社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	「国語」
			「英語」
		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」【理科※2】から1科目	
	環境情報学専攻	「国語」「英語」から1科目	
		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」【理科※2】「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」から1科目	
	情報デザイン専攻	「国語」「英語」から1科目	
「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」【理科※2】「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」			
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	「国語」
		「英語」	
	社会・臨床心理学専攻	「国語」「英語」「数学」から2科目	
		ただし、数学を選択する場合は、「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」からいずれか1科目	
人間福祉学科	「国語」		
	「英語」「世界史B」「日本史B」「現代社会」から1科目		
比較文化学部 比較文化学科	「国語」		
	「英語」		
	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目		

学部・学科・専攻			大学入学共通テストにおいて利用する科目
短期大学部	家政科	家政専攻	「国語」「英語」から1科目
		生活総合ビジネス専攻	「国語」「英語」から1科目
		食物栄養専攻	「国語」「英語」から1科目
	【理科※3】		
	国文科	「国語」	
英文科	「英語」		

●理科の出題範囲と科目の採用方法

【理科※1】	<p>A 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の3科目から選択解答した2科目の合計点を採用</p> <p>B 「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した1科目の得点を採用</p> <p>C 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の3科目から選択解答した2科目の合計点並びに「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用</p> <p>D 「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した2科目の得点のうち、高得点を採用</p>
【理科※2】	<p>A 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から選択解答した2科目の合計点を採用</p> <p>B 「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した1科目の得点を採用</p> <p>C 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から選択解答した2科目の合計点並びに「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用</p> <p>D 「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した2科目の得点のうち、高得点を採用</p>

【理科※3】	A 「化学基礎」「生物基礎」の2科目を解答した合計点を採用 B 「化学」「生物」の2科目から選択解答した1科目の得点を採用 C 「化学基礎」「生物基礎」の2科目を解答した合計点並びに「化学」「生物」の2科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用 D 「化学」「生物」の2科目を選択解答した得点のうち、高得点を採用
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●「大学入学共通テスト」利用における記述式問題と英語外部試験の取扱い

記述問題 （「国語」、「数学」）	①「国語」「数学」とも、マークシート式問題に加え、記述式問題も評価の対象とする。 ②「国語」の記述式問題の段階別成績表示については、その結果を点数化し、マークシート式問題の得点に加点して活用する。
中止	③「数学」の記述式問題は、正誤のみの判定であり、マークシート式問題と一体で出題・配点されるため、記述式の得点はそのまま利用する。

文部科学大臣の国語と数学の記述式問題導入を見送る旨の発表(2019年12月17日)を踏まえ、記述式問題の取扱いを中止します。

英語外部試験	①大学入試センターが認定した英語外部試験と、「大学入学共通テスト」の試験「英語」の両方を利用する。 ②対象とする英語外部試験は、大学入試センターが認定した全ての資格・検定試験とする。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

↓ 変更

文部科学省の英語民間試験導入延期を踏まえ、以下のとおり一部変更します。(2019年11月11日)

英語外部試験	①英語外部試験結果の活用は見送る。 ②試験科目の英語は、「大学入学共通テスト」の試験科目「英語」を利用し、判定に用いる。
--------	-----------------------------------------------------------------

3. 「主体性・多様性・協働性」の評価について

- ・入試種別を問わず「JAPAN e-Portfolio」等のeポートフォリオは、使用いたしません。
- ・一般選抜においては、Web出願時に「主体性・多様性・協働性」を示す文書を提出していただきます。(得点化せず、入学後の参考資料として活用)
- ・決まり次第、随時発表していきます。

一般選抜(A方式 個別学力試験)	・各科目における配点、試験日、試験時間割
一般選抜(B方式 大学入学共通テスト利用)	・各科目における配点

以上

本予告の内容は公表日時点のものであり、今後の状況により追加・変更となる可能性もあります。変更が生じた場合は、本学のwebサイト等でお知らせいたします。

なお、詳細は令和3年度募集要項に記載いたします。